

三田市でミズワラビ初発見!

2013年9月に三宅慎也氏（元神戸市森林植物園）より、三田市でミズワラビを発見したとの連絡を受けた。現地調査におもむいたところ、10m×10mほどの休耕田に最大で20cmほどが数百株生育することが確認できました。三田市で初の分布記録です。

西宮市など武庫川下流部での記録はあるが、上流部での発見は初めてで、武庫川水系でも全域に分布している可能性があります。

○ミズワラビは増えているか？

この10年で県内のミズワラビの生育場所が多く見つかっています。

除草剤の種類が代り、夏以降は使用が減ったこと、稲刈り後の水田を翌春まで耕起しなくなったことなどが影響して、秋に成長するミズワラビにとって、以前より好ましい環境になってきたのかもしれない。

まずは現状の調査が重要です。みかけたらご一報下さい。



三田市でのミズワラビの発見場所
武庫川近くの休耕田で、ここ数年は耕作はしていない。ミズワラビの本来の生育場所は河川の氾濫した湿地と考えられ、河川に近い水田に見つかることが多い。



三田市のミズワラビの生育状態
10月上旬。シダの葉らしい栄養葉が最初はでてくるが、次第に角状の孢子葉（孢子をつくる）が多くなり、11月にもなると孢子葉ばかりになる。



ミズワラビの孢子
直径0.1mm程度。シダの孢子としては大型で、土の中で数十年の寿命がある。

ミズワラビ

Ceratopteris thalictroides (L.) Brongn.

水田や湿地に生えるシダ植物で、関東・新潟以南に分布します。7月ころに孢子から発芽して、9月ころには角状の葉に孢子をつくります。12月には枯れます。葉は30cmを超えますが、数cm程度のこともよくあります。

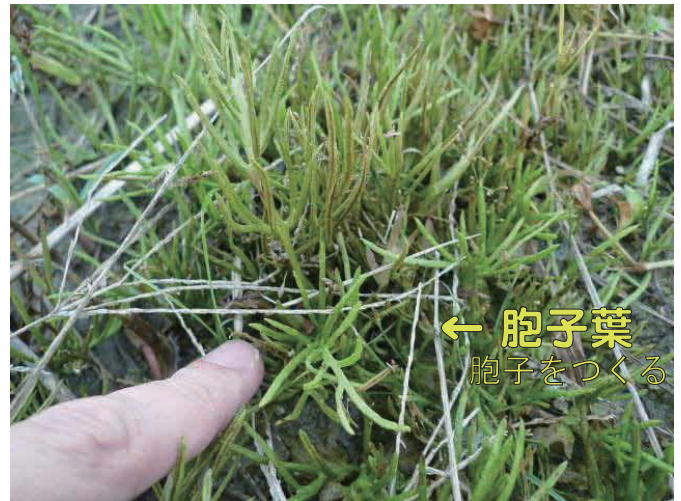
除草剤のため、急速に減少したといわれている。分布する都府県のほとんどでレッドデータブックに掲載されています。

※ 益山・綿野(2010)は、九州以北のものはヒメミズワラビとして細分しています。

○兵庫県内の分布

兵庫県では、淡路を除く県内に点在する。河川敷などの不安定な環境に生育しており、兵庫県レッドリスト(2010)ではCランクに指定されています。

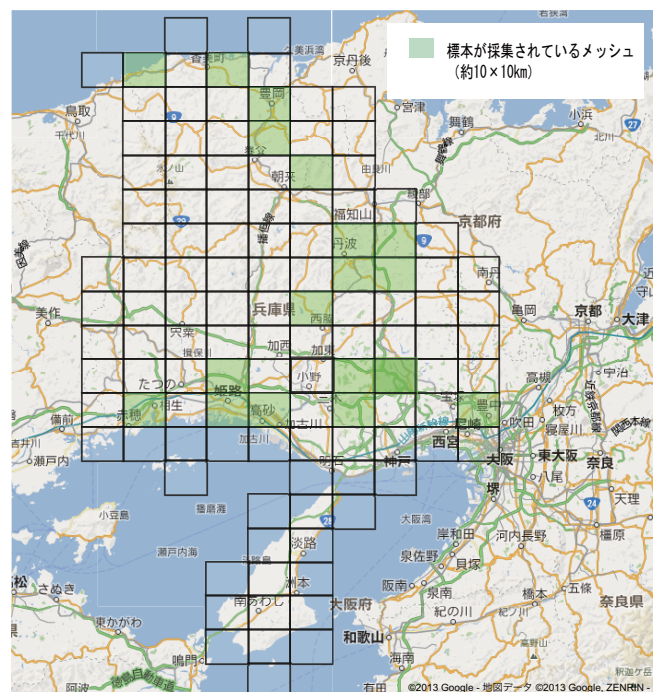
但馬の円山川下流域ではかなり多く、阪神間の川西市や東播の加古川下流域、西播の千種川下流域にも分布します。丹波市にも多産するらしいことがわかってきています。



20cmを超える大型のミズワラビ



2cmくらいの小型のミズワラビ



兵庫県内でのミズワラビの分布